



里芋の収穫

## Contents

<畑の真ん中で挑戦し続ける！>  
NPO法人夢のカタチふぁーむ

<ちい寄附賛同店>  
和食 飛石  
くし将

<とみさとの魅力みつけた！>  
初芝拓海さん

## 畑の真ん中で挑戦し続ける！

思いをカタチにするために様々な取組にチャレンジし、つながりを大切にしながら活動している「NPO法人夢のカタチふぁーむ」

農業と福祉の連携から生まれる夢のカタチを追ってみました。

## はじめの一步を踏み出して

富里市の南部、富里市立富里南小学校の北東に広がる農地の一面では、有機農法による野菜作りが行われています。運営しているのは「NPO法人夢のカタチふぁーむ」。農業と福祉の連携によって、農薬や化学肥料に頼らないことを基本とする有機JASの農作物を生産しています。就労継続支援B型事業所（※）の作業所としての役割を持ち、15人程の利用者さんがここで作業をしています。

※障害や年齢、体力などの理由で雇用契約を結んで働くことが困難な人が、就労の機会を得たり、就労に必要な知識や能力の向上のために就労訓練・支援を行う事業所です。

NPO法人夢のカタチふぁーむ設立の前段は、株式会社夢のカタチ代表取締役の二階堂すみ子さんが平成28年に八街市で始めたグループホームです。翌年には就労支援を始めました。就労支援といっても1つやって何銭の内職の世界で、ひと月働いても1万円にもならないほどでした。

利用者さんの工賃を上げ、自立するためにはどうしたらよいか悩んでいた頃、(株)ちば風土の会の方から一緒に農業をやらないかと話がありました。子どもの頃から親しんでいた農業だったらできるかもしれないと、農業での就労支援を開始。(株)ちば風土の会が持っていた富里の今の農地で新たな挑戦が始まりました。

「障害あるなしに関係なく、地域で生活していける場を作りたい！仕事をすることで自信を付けたり、自分のやりたいことを見つけたい！」

最終的なゴールを定め、平成31年3月に「NPO法人夢のカタチふぁーむ」が誕生しました。

## サポートセンターからのお知らせ

2/8 (木)  
13:30~15:30

とみさと協働塾

### 資金調達講座

市民活動をする上で大切な資金調達。活動資金と共感を集める手法について学びましょう！

場 所：とみさと市民活動サポートセンター

講 師：阿部 剛氏

(特定非営利法人まつどNPO協議会理事)

定 員：15名

参加費：無料（登録団体以外の方は、資料代として1人200円をいただきます）



収穫した野菜を袋詰めする作業

二階堂さんに設立当初のことを伺うと

「農業をやっていたとは言えサトウキビしか作ったことがないんですよ。支援者や指導者の方に一から野菜の作り方を教えてもらいました。」当時の苦労を思い出しながら、立ち上げ時の相棒大塚さんと顔を見合わせていました。

## チャレンジいろいろ

土づくり、草取り、虫との闘い、肥料の配合、播種したものが無事に発芽するかどうかの不安…四苦八苦しなうようやく畑の作業を軌道に乗せ、今では8反の畑に芋類や根菜類、葉物野菜などを育てています。利用者さんは種蒔きや草取り、野菜の収穫にその袋詰めなど、スタッフと一緒に土にまみれ汗を流しています。

「この前、数えてみたら1年間で80種類以上も作っていました！」とスタッフの大塚さんもびっくりの野菜の種類。

2/17 (土)

とみさと協働塾

### まちづくり交流会

富里をより暮らしやすい街に…『まちづくり』に関して、皆で意見交換しませんか。市民活動団体、地縁団体、まちづくりサポーターなど皆さんの参加をお待ちしています。

場 所：すこやかセンター2階 総合健診室

定 員：30名

参加費：無料



収穫した野菜はパルシステムや近隣の飲食店へ納める他、都内で開かれるマルシェでも並べられ、有機野菜ということもあって大変な人気だそうです。また、畑の作物を使ったマフィンやマドレーヌなどの加工品も年々種類を増やし、末廣農場やマルシェで手に取られた方も多いのではないでしょうか。数種類の野菜を詰め込んだ『野菜BOX』の宅配や、夢のカタチふあーむ現地でのB品野菜の詰め放題も行っており、無駄を無くし、より多くの人に畑の恵みが届く工夫をしています。

設立前から続けていた内職作業も、今ではトレーディングカードの仕分けやCDの検品など作業内容も増え、畑の作業が苦手な利用者さんにとってもやりがいのある場となっています。



収穫したラディッシュと里芋

## 人と人とのつながりの中で

「NPO法人夢のカタチふあーむ」ではボランティアや視察の受入れもしています。一度来た方が他の方を連れてきて輪が広がったり、視察の受入れから新たな出会いがあったり、様々な取組を通して人のつながりができ、さらに活動が広がり豊かになりました。

「人は人の中にいるからこそ気づきがあり、成長していくものだと思います。」

という二階堂さんの言葉に実感がこもります。

また事務所の壁には、利用者さんが自分で決めたビジョンが紙に書いて貼ってあります。

みんなの励ましや応援を受けながら、ビジョン達成に向けて頑張る利用者さんの姿を思い浮かべながら、

「できなかったことができるようになったときに喜びを感じます。できることが増えると、世界が広がりますよね。」と語る二階堂さん。

これからのことを伺うと、

「最終目標である地域で生活できる場所づくりですね。誰もが安心して暮らせる場を作りたいです。それと、利用者さんの工賃は以前の3倍にはなったけれども、もっともっと増やしてあげたいです。」

未来を見つめる二階堂さんの目に強い意志を感じました。

これからどんな夢のカタチを作っていくのか。どんなカタチが現れるのか。畑の真ん中での挑戦はまだ続きます。



この看板が目印



NPO法人  
夢のカタチふあーむ  
Facebookページ

## 「寄附で支えるまちづくり」に賛同しているお店

### 和食 飛石

ここにお店を開いて8年目になります。ちい寄附のことを気にかけて小銭を貯めて持ってきてくださるお客様もいらっしゃいます。安心安全なまちになるように、このお金が活用されると嬉しいです。

【富里市七栄649-669



Tel 0476-88-5519】

### くし将

風戸 信次さん

お店を開店して31年。地域の方に薦められてちい寄附の賛同店になって5年になりました。ちい寄附のことを知ってくれる方たちも増え、これからも地域の貢献につながるといいですね。



【富里市御料1005-11 Tel 0476-92-9477】

はつしば たくみ  
初芝拓海さん



## 最年少消防団員としての自覚

災害など、まちの有事に備えて日々訓練を重ねている消防団。富里市内には現在19の消防団があり、人数最多の富里市第5分団（七栄）は、令和4年度「第11回富里市消防操法大会」ポンプ車の部で優勝しました。令和5年度には、富里市代表チームとして「第43回公益法人千葉県消防協会印旛支部消防操法大会」ポンプ車の部に出場し、敢闘賞を獲得しました。

その第5分団には、最年少19歳（取材当時）の初芝拓海さんが入団しています。

初芝さんは現在大学2年生。教員になることを目指しながら、消防団の活動をしています。消防団に入ったきっかけは、親御さんの知人である先輩消防団員からの誘いでした。当時は気軽に入団を決めたものの、消防活動を経験していく中で団員の方々の行動力や使命感の強さに圧倒されたそうです。

初芝さんは消防団へ入団して1年程ですが、先輩団員の方たちの熱心な訓練に参加するうち、段々と救助活動への興味が湧いてきたそうです。

「先輩たちの動きをよく見て先回りして道具を準備することを心掛けています。先輩の動きと自分のサポートの息がピッタリ合った瞬間に、とてもやりがいを感じます。」と楽しそうに話してくれました。



消防操法大会の様子

## 経験を活かして教員を目指す

現在、体育教員を目指して勉強中の初芝さんですが、そのきっかけは、中学2年生の時に始めたバスケットボール部の顧問の先生でした。

部活動の指導だけでなく、生活指導や高校受験の進路相談において、卒業までの2年間とても親身にアドバイスをしてくれました。

その後、高校生になり将来を考えた際に顧問の先生を思い出して「自分も、あの先生のように子どもたちに寄り添える教員になりたい。」と思うようになっていったそうです。

「来年度から教育実習も始まるので楽しみです！」とも話してくれました。

将来は、消防団での経験を活かし、万が一の時に子どもたちへ迅速かつ適切な対応ができる体育教員が目標だそうです。フレッシュな初芝さんの今後の活躍に期待大ですね！

## コーディネーターのひとりごと

御存知ですか？冬人参の生産量が千葉県の中で富里市が1位なんです。人参には、栄養素がたくさん含まれています。私は、人参の味をダイレクトに味わえるからスティックサラダで食べるのが好きです。甘みが強く香り高い人参。皆さんも冬人参を味わってみてくださいね。（みこ）

## SNSアカウント



<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター  
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1(富里市役所 すこやかセンター1階)  
■Tel/Fax:0476-93-4123 ■E:tomisapo@bz04.plala.or.jp  
登録団体数：90団体（12月1日現在）  
年4回発行 発行部数：2500部 配布先：市内公共施設 他

